2021 年度　久留米大学　後期理系　第４問

問題　1 から 25 までの数字が 1 つずつ重複せずに書かれた 25 個の球が箱に入っている。次の問いに答えよ。ただし，以下でいう取り出された球に書かれた数字の和とは，例えば，1 と 8 と 14 と 20 が書かれた球が取り出されたとき $1+8+14+20=43$ である。

(1)　この箱の中から 2 個の球を取り出すとき，取り出された 2 個の球に書かれた数字の和が偶数になる確率は $\dfrac{\boxed{\text{あい}}}{\boxed{\text{うえ}}}$ である。

(2)　この箱の中から 2 個の球を取り出すとき，取り出された 2 個の球に書かれた数字の和が 5 の倍数になる確率は $\dfrac{\boxed{\text{お}}}{\boxed{\text{か}}}$ である。

(3)　この箱の中から 22 個の球を取り出すとき，取り出された 22 個の球に書かれた数字の和が 3 の倍数になる確率は $\dfrac{\boxed{\text{きくけ}}}{\boxed{\text{こさし}}}$ である。

S_kurume2021C_04.pbm